

西小は 大きな 家族

Family

～校長のたわいもない独り言・その2～

令和2年2月28日(金) No.55

発行人

三連休は富士見高原一人スキー。2
時間が体力の限界の川崎先生(T_T)

★もう春だなあ～2月最後の雑感★

・1年生の教室で授業を見ていた時に、ある男の子に”校長先生何歳？”と聞かれて、思わず”うーん、20歳！！”と答えてしまった自分の小ささが恥ずかしい(>_<)。その後には本当の歳を教えたけど、なんかすごい罪悪感・・・ごめんねm()m。

・さくらの教室にふらっと立ち寄る。この時は学年の異なる4人が和やかに学習している。滝島tが優しく二人の男の子に教え、志村tと教育ボランティアの高石tが、それぞれ一人の子どもにいていねいに教えている。みんながみんなお互いに尊重し合っている、このふわっとした心地よさがさくら教室の一番の良さかもしれない。みんなの表情がとても印象的(^o^)J。

・その後には3年生教室に向かう。誰もいなのかな？と思うくらい静かに保坂教頭tが書写の授業をしていた。今の時代は筆を持つ機会が少ないor無いので、なかなか思うように書けない。”あーっ、ここだめだ！”などと言いながら、でも一生懸命に練習する姿は、見ていてなんとも微笑ましい。少しは練習しようかなあ・・・と、いつになっても筆ペンの字が上手に書けない川崎でした(^_^;)。

・あっ、それと6年生の教室に掲示してあった習字の四字熟語。その中に「心堅石穿(しんけんせきせん)」という言葉があった。おーっ、いやいや小学校6年生でこの言葉を持つてくるか(◎o◎)！”強い意志があれば、石にさえも穴をあけることができる・・・意志が固ければ、どんなことでも達成できる”という意味。深いなあ～(^O_0^)。

・休日に田頭の坂道をハアハアゼィゼィ(+o+)言いながら登っているときに、車の中から”ファイト～！！”というお母さんの声と、後部座席から手を振る1年生男子。あざーっす。その声と応援でなんとか歩かずに登り切りました。あの坂、本当に大変なんだから～(^_^;)。

・朝の玄関前。志村tにおんぶする1年女子。体にまとわりつく1年男子だち。こうやって優しさや温かさで心をいっぱい満たして、そして1日がんばるんだよね～。

うんうん、どんどん甘えていいんだよ～\(^o^)J

・校長室の前で作業をしていると、長休みを終えて教室に戻る子どもたちが玄関を通る。その姿がシルエットで見える。今日は4年生女子3人が、遠くから”こんにちは～”と声をかけてくれる。手を振ると振り返ってくれるその反応がこの上なく心地よい。

・朝、子どもたちが登校に時間に出張に出かけることも多い。いつものように車の中から手を振ると、いつものように気づいた子どもたちが手を振り返してくれる。自然と笑顔になっている自分に気づく・・・。

・どうやら山梨でも桜が咲き始めたところがあるらしい。と聞いて、校庭の桜の樹を見上げるが、西小の桜はまだ当分咲きそうもない。そう言えば去年は入学式にちょうど良かったが、2年前は完全に葉桜となってしまう、落花を掃き集めて校門から玄関までまいたことを思い出した。さてさて今年はどうなる事やら。

★新型コロナウイルスの影響でしばらく休校になります。大変ご迷惑をおかけし

ます。詳細は別途ご連絡いたします★ m()m m()m m()m m()m